

神奈川ネットは、「政務活動費」を自主管理規準のもとに活用し、その報告書・成果物・会計諸表・領収書を整理保存して、市民に公開してきました。2015年度に交付された政務活動費について、座間市民ネット事務所にて、加藤よう子市議はじめ、神奈川ネットの県央エリアの議員の收支報告書を公開し、調査研究の成果も報告しました。



●神奈川ネット政務活動費市民公開
7月26日(火) 10時~11時半

▲政務活動について説明する加藤市議

ようには反映されたのかを確認する機会でもありました。また、座間ネットの活動を伝えられる貴重な機会ともなりました。今後もしっかりと活動を公開し、信頼を得て活動を進めていきます。

政務活動費を公開

牧嶋とよ子(座間市民ネット)

座間
地域のうごき

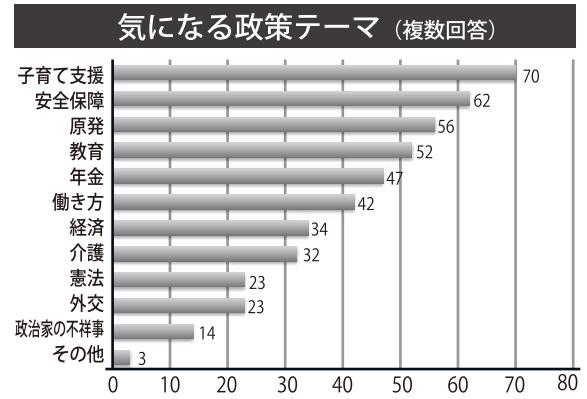
「若者と政治をつなぐ」ミニフォーラム

7月10日には、国政選挙で初めての「18歳選挙」が実施されました。参議院選挙で新たに有権者となった18歳と19歳の投票率は45.45%で、全体の投票率54.7%よりも10ポイント以上低いものの、長らく20~30%台にとどまっていた20代の投票率を上回っています。

神奈川ネットでは、参議院選挙に先駆け、今年4月から6月末まで、若者と政治に関するアンケート調査を実施し「思い浮かぶ政治家」や「投票の経験」「気になる政策テーマ」など、10代~30代の皆さん146人の回答を得ました。調査の結果も踏まえ、今回の参議院選挙を振り返るとともに、どうすれば「投票するのがあたり前」の社会に近づくのか考えます。

年齢 (歳)	投票率 (%)		
	男	女	計
18	49.43	53.01	51.17
19	37.31	42.11	39.66
計	43.43	47.58	45.45

総務省自治行政局が、全国47,905投票区の中から、187投票区(46都道府県×4投票区。沖縄県のみ3投票区)を抽出し調査



ミニフォーラム
「若者と政治をつなぐ」
日時 8月29日(月)
15:30~16:30
場所 神奈川ネット事務所
問合せ 045-651-2011



2016参議院選挙報告会 「市民政治を実践します」

神奈川ネットが共に闘った大河原まさこさん(参議院・比例代表)に、全国で71,398票が寄せられました。

残念ながら議席に届きませんでしたが、大河原さんからは「掲げた政策の実現に向けて、引き続き市民政治を実践していく」という決意も語られました。

大河原まさこさん

政策フォーラム 「市民の力で民主主義をつくる」

藤田ほのみ(生活クラブ・神奈川理事長)



参議院選挙に向けて、生活クラブ・神奈川では今まで行ってきた活動をベースに、人間が人間らしく生きられる社会と未来を展望し、政策としてまとめ公開・発表し、各政党・候補者から見解を聞きました。6月18日には、ワークピア横浜で「市民の力で民主主義をつくる」と市民が主体の政治をひろげ持続可能な未来社会を展望する政策フォーラムを開催しました。まず、坪郷實早稲田大学教授から、「市民が主体の政治をつくることの重要性と今回の参議院選挙の位置」として問題提起がありました。生活クラブからは、食料の自給力の向上と食の安全を求める運動(FECA+ワークの自給圏づくり)を紹介しました。会場からは、ワークキーワードとした政策について、候補者と、生活クラブが進める市民参加型の政治をどのように進めるかについて、意見交換しました。会場からは、ワークグループや地域生協の現場に根差した取り組みと政治に期待することへの発言がありました。市民が主体の政治をつくる流れを変えることにつながることを確認しました。

参議院選挙に向けて、生活クラブ・神奈川では今まで行ってきた活動をベースに、人間が人間らしく生きられる社会と未来を展望し、政策としてまとめ公開・発表し、各政党・候補者から見解を聞きました。6月18日には、ワークピア横浜で「市民の力で民主主義をつくる」と市民が主体の政治をひろげ持続可能な未来社会を展望する政策フォーラムを開催しました。まず、坪郷實早稲田大学教授から、「市民が主体の政治をつくることの重要性と今回の参議院選挙の位置」として問題提起がありました。生活クラブからは、食料の自給力の向上と食の安全を求める運動(FECA+ワークの自給圏づくり)を紹介しました。会場からは、ワークキーワードとした政策について、候補者と、生活クラブが進める市民参加型の政治をどのように進めるかについて、意見交換しました。会場からは、ワークグループや地域生協の現場に根差した取り組みと政治に期待することへの発言がありました。市民が主体の政治をつくる流れを変えることにつながることを確認しました。

参議院選挙に向けて、生活クラブ・神奈川では今まで行ってきた活動をベースに、人間が人間らしく生きられる社会と未来を展望し、政策としてまとめ公開・発表し、各政党・候補者から見解を聞きました。6月18日には、ワークピア横浜で「市民の力で民主主義をつくる」と市民が主体の政治をひろげ持続可能な未来社会を展望する政策フォーラムを開催しました。まず、坪郷實早稲田大学教授から、「市民が主体の政治をつくることの重要性と今回の参議院選挙の位置」として問題提起がありました。生活クラブからは、食料の自給力の向上と食の安全を求める運動(FECA+ワークの自給圏づくり)を紹介しました。会場からは、ワークキーワードとした政策について、候補者と、生活クラブが進める市民参加型の政治をどのように進めるかについて、意見交換しました。会場からは、ワークグループや地域生協の現場に根差した取り組みと政治に期待することへの発言がありました。市民が主体の政治をつくる流れを変えることにつながることを確認しました。

今月の神奈川ネット

■政務活動費公開／第5回運営委員会：7/26(火)
■市民の生活・活動法律相談：8/17(水)

参議院選挙に向けて、生活クラブ・神奈川では今まで行ってきた活動をベースに、人間が人間らしく生きられる社会と未来を展望し、政策としてまとめ公開・発表し、各政党・候補者から見解を聞きました。6月18日には、ワークピア横浜で「市民の力で民主主義をつくる」と市民が主体の政治をひろげ持続可能な未来社会を展望する政策フォーラムを開催しました。まず、坪郷實早稲田大学教授から、「市民が主体の政治をつくることの重要性と今回の参議院選挙の位置」として問題提起されました。生活クラブからは、食料の自給力の向上と食の安全を求める運動(FECA+ワークの自給圏づくり)を紹介されました。会場からは、ワークキーワードとした政策について、候補者と、生活クラブが進める市民参加型の政治をどのように進めるかについて、意見交換されました。会場からは、ワークグループや地域生協の現場に根差した取り組みと政治に期待することへの発言がありました。市民が主体の政治をつくる流れを変えることにつながることを確認しました。

参議院選挙に向けて、生活クラブ・神奈川では今まで行ってきた活動をベースに、人間が人間らしく生きられる社会と未来を展望し、政策としてまとめ公開・発表し、各政党・候補者から見解を聞きました。6月18日には、ワークピア横浜で「市民の力で民主主義をつくる」と市民が主体の政治をひろげ持続可能な未来社会を展望する政策フォーラムを開催しました。まず、坪郷實早稲田大学教授から、「市民が主体の政治をつくることの重要性と今回の参議院選挙の位置」として問題提起されました。生活クラブからは、食料の自給力の向上と食の安全を求める運動(FECA+ワークの自給圏づくり)を紹介されました。会場からは、ワークキーワードとした政策について、候補者と、生活クラブが進める市民参加型の政治をどのように進めるかについて、意見交換されました。会場からは、ワークグループや地域生協の現場に根差した取り組みと政治に期待することへの発言がありました。市民が主体の政治をつくる流れを変えることにつながることを確認しました。